

大村市政だより

財政事情
説明書
特別号

□昭和33年4月22日第三種郵便物認可 □毎月3回1日・10日・20日発行 □定価1部5円
□発行所 大村市役所 □編集人 総務課長 菊池綱昌 □印刷所 隆文社印刷所

[まえがき]

今回の財政事情説明書では、昭和43年度当初予算の概要と昭和42年度下半期の財政状況についてお知らせします。

[予算の概況]

昭和43年度における財政の運営は、基本的に国の施策に準じ、重点主義に徹し、節度ある運営を行なうこととして編成しています。そこで予算計上にあたっては、国民体育大会の完遂、道路の整備、住宅の建設、教育の振興、企業の誘致、交通の安全対策などを重点施策として限られた財源を重点的に配分し、一方経常経費の節減、合理化を行なうとともに、新規の経費は緊急なものに限って計上しました。

財政事情説明書

大村市告示 第51号

地方自治法第243条の3第1項、並びに大村市財政事情説明書の作成及び公表に関する条例第2条、第3条の定めるところにより、大村市の財政事情をつぎのとおり公表します。

昭和43年6月1日

大村市長 大村純毅

昭和43年度一般会計当初予算 (単位千円)

歳入科目	予算額	構成比(%)	歳出科目	予算額	構成比(%)
1.市税	337,499	23.7	1.議会費	28,009	2.0
2.自動車取得税	1	—	2.総務費	221,876	15.6
3.国有提供施設等所在市助成交付金	4,284	0.3	3.民生費	391,468	27.5
4.地方交付税	321,395	22.5	4.衛生費	49,617	3.5
5.交通安全対策特別交付金	1	—	5.労働費	43,136	3.0
6.分担金及び負担金	4,263	0.3	6.農林水産業費	128,456	9.0
7.使用料及び手数料	38,722	2.7	7.商工費	41,831	2.9
8.国庫支出金	386,689	27.1	8.土木費	195,966	13.7
9.県支出金	35,997	2.5	9.消防費	38,186	2.7
10.財産収入	5,933	0.5	10.教育費	168,398	11.8
11.寄附金	2,082	0.1	11.災害復旧費	5,495	0.4
12.繰入金	1	—	12.公債費	109,241	7.6
13.繰越金	1	—	13.諸支出金	1	—
14.諸収入	248,916	17.5	14.予備費	3,605	0.3
15.市債	39,501	2.8			
歳入合計	1,425,285	100.0	歳出合計	1,425,285	100.0

昭和43年度一般会計当初予算分析表 (単位千円)

区分	金額	構成比(%)
1.消費的経費	562,241	39.4
人件費	398,067	27.9
物件費	89,026	6.3
維持補修費	12,101	0.8
補助費等	63,047	4.4
2.投資的経費	318,706	22.4
普通建設事業費	270,075	19.0
災害復旧事業費	5,495	0.4
失事対策事業費	43,136	3.0
3.その他の経費	544,338	38.2
公債費	109,241	7.7
扶助費	327,024	22.9
積立金・貸付金等	104,468	7.3
予備費	3,605	0.3
合計	1,425,285	100.0

○ (2) (3) (4) (5) ○

昭和43年度特別会計当初予算

(単位千円)

会 計 別	昭和43年度予算	昭和42年度予算	増 減 (△)
国民健康保険事業費	237,760	142,839	94,921
と 畜 場 費	1,100	412	688
合 計	238,860	143,251	95,609

昭和42年度一般会計予算と執行状況

(昭和43年3月31日現在) (単位千円)

歳 入 科 目	予 算 額			予算構成比 (%)	収入済額	収入割合 (%)
	当 初	補 正	現 計			
1. 市 税	257,461	35,261	292,722	17.5	297,687	101.7
2. 国有提供施設等所在市助成交付金	4,084	200	4,284	0.3	4,284	100.0
3. 臨時地方財政交付金	1	1,337	1,338	0.1	1,338	100.0
4. 地方交付税	283,550	38,791	322,341	19.2	322,341	100.0
5. 分担金及び負担金	15,207	△ 14,918	289	—	288	99.7
6. 使用料及び手数料	36,924	1,670	38,594	2.3	37,713	97.7
7. 国庫支出金	321,378	122,981	444,359	26.5	409,828	92.2
8. 県 支 出 金	56,390	8,878	65,268	3.9	30,295	46.4
9. 財 産 収 入	9,465	2,287	11,752	0.7	11,566	98.4
10. 寄 附 金	586	3,136	3,722	0.2	2,923	78.5
11. 繰 入 金	1	—	1	—	—	—
12. 繰 越 金	16,342	13,109	29,451	1.8	29,451	100.0
13. 諸 収 入	191,765	136,855	328,620	19.6	227,604	69.3
14. 市 債	61,100	72,300	133,400	7.9	14,000	10.5
歳 入 合 計	1,254,254	421,887	1,676,141	100.0	1,389,318	82.9
歳 出 科 目	予 算 額			予算構成比 (%)	支出済額	支出割合 (%)
	当 初	補 正	現 計			
1. 議 会 費	22,927	3,074	26,001	1.5	25,773	99.1
2. 総 務 費	193,036	46,078	239,114	14.3	224,406	93.8
3. 民 生 費	343,205	45,335	388,540	23.2	379,937	97.8
4. 衛 生 費	50,210	4,788	54,998	3.3	52,590	95.6
5. 労 働 費	42,316	7,300	49,616	3.0	46,602	93.9
6. 農 林 水 産 業 費	110,604	94,121	204,725	12.2	155,992	76.2
7. 商 工 費	40,823	1,341	42,164	2.5	41,631	98.7
8. 土 木 費	113,251	110,744	223,995	13.4	186,098	83.1
9. 消 防 費	32,935	2,887	35,822	2.1	32,115	89.7
10. 教 育 費	175,949	104,149	280,098	16.7	241,676	86.3
11. 災 害 復 旧 費	9,823	3,466	13,290	0.8	7,560	56.9
12. 公 債 費	95,080	△ 1,473	93,607	5.6	93,614	100.0
13. 諸 支 出 金	1	—	1	—	—	—
14. 予 備 費	1,149	77	1,226	0.1	—	—
明 許 繰 越	22,944	—	22,944	1.3	22,929	99.9
歳 出 合 計	1,254,254	421,887	1,676,141	100.0	1,510,923	90.0

注、予算額欄には明許繰越額を含む。

昭和42年度特別会計予算と執行状況

(昭和43年3月31日現在) (単位千円)

会 計 別	予 算 額			収入済額 (A)	収入割合 %	支出済額 (B)	支出割合 %	差 引 (A) - (B)
	当 初	補 正	現 計					
国民健康保険事業費	142,839	64,741	207,580	185,818	89.5	167,418	80.7	18,400
と 畜 場 費	412	1,930	2,342	2,283	97.5	2,192	93.6	91
合 計	143,251	66,671	209,922	188,101	—	169,610	—	18,491

(3) 大村市政だより

昭和33年4月22日第三種郵便物認可 昭和43年7月20日

市有財産総括表

(昭和43年3月31日現在)

種 別	数 量	価 格
1.施設敷地	1,179,634.80 ^{m²}	346,308,853 ^円
2.建物	97,512.51 ^{m²}	1,243,401,605
3.工作物	29件	147,501,095
4.車輛	96台	20,225,828
5.機械器具	93台	15,410,946
6.山林その他	5,408,416.78 ^{m²}	250,265,407
7.基金及び積立金	3件	6,517,066
8.出資金	10件	11,364,000
9.財産権	1件	6,214
合 計		2,041,001,014

一時借入金について

一時借入金とは、市の収入不足を一時的に補うため財政調整資金として借入れるもので、その返済は、今後見込まれる収入によって返済されます。3月末までの収入済額は1,389,318千円で、支出済額が1,510,923千円となっており、その差額121,605千円を一時借入れています。なお、この中には80,000千円の起債前借も含まれています。

市債について

市債とは、市が学校や住宅の建設、道路の整備などの大きな事業に多額の資金を必要とする場合に国などから資金を借りて事業を進めますが、この借入金を市債といい、長期間に少しずつ返済して行くものです。大村市の場合はずつとのおりです。

3月31日現在【人口 55,959
世帯 13,540】

目 的 別	昭和42年度 末現在高	市 民 負 担 額	
		一人当り	一世帯当り
1. 普 通 債	612,700 ^{千円}	10,949 ^円	45,251 ^円
庁 舎	102,287	1,828	7,554
土 木	116,768	2,087	8,624
農 林 水 産	17,895	311	1,285
教 育	232,294	4,151	17,156
公 営 住 宅	48,698	810	3,597
民 生	2,500	45	185
保 健 衛 生	58,290	1,041	4,305
消 防 庁 舎	15,668	280	1,157
改 良 住 宅	18,800	336	1,388
2. 災 害 復 旧 債	106,257	1,899	7,848
土 木	76,101	1,360	5,620
農 林 水 産	21,361	382	1,578
文 教 施 設	8,795	157	650
3. そ の 他	192,749	3,444	14,236
転 貸 債	4,116	74	304
退 職 手 当 債	11,643	208	860
公 有 林	15,100	270	1,115
併 存 住 宅	1,568	28	116
消 防	7,500	134	554
市 民 税 減 税 補 てん 債	30,161	539	2,228
市 民 会 館 建 設 債	104,861	1,874	7,745
国 体 施 設	11,000	196	812
救 農 土 木	6,800	121	502
合 計	911,706	16,292	67,335

(自42.10.1～至43.3.31)

借入年月日	借 入 先	借 入 金 額	利 率	償 還 年 月 日
42. 12. 4	郵 政 省	50,000 ^{千円}	日歩 1銭 8厘	43. 3. 4
42. 12. 26	長崎県国保団体連合会	10,000	日歩 1銭 7厘	43. 3. 25
43. 2. 20	大 蔵 省	40,000	日歩 1銭 8厘	43. 3. 22
43. 3. 4	郵 政 省	80,000	"	43. 5. 31
43. 3. 21	親 和、十 八 銀 行	40,000	日歩 2銭 2厘	43. 4. 5
43. 3. 25	企 業 会 計 (ポ ー ト)	10,000	日歩 7厘	43. 4. 1
43. 3. 27	"	10,000	"	43. 4. 1

市税の住民負担状況

年 度	決算額又は予算額	一人当り負担額	一世帯当り負担額	備 考
39	220,980 ^{千円}	3,828 ^円	17,463 ^円	(人口) 57,715 (世帯) 12,654
40	256,226	4,462	19,862	75,419 12,900
41	254,357	4,533	19,072	56,104 13,336
42	292,722	5,241	21,866	55,944 13,387
43	337,499	6,031	24,926	55,959 13,540

※ 42年度及び43年度は予算額

療器械を整備して科学的検査及び治療器械による診療効果の促進をはかっております。

懸案の冬期における病室の暖房については、新たにボイラー1基を増設して暖房の完全を期し、又、都市ガスの配管、理髪室の新築などにより患者の利便をはかっております。さらに院内の塗装及び汚水浄化槽の増設を行ない環境の美化、整備をはかり職員の厚生施設として職員休憩室を新築しました。

入院患者数(延)は前年に比べ1.5パーセントの減少となっており、外来患者数(延)は前年に比べ0.5パーセントの増加となっております。

昭和43年度においても本市医療センターとして市民の医療要請に応えるため、医療要員の確保に努めるとともに診療施設の拡充並びに医療器械の整備を促進して医療体勢の強化をはかり、あわせて経営の合理化により病院医療の高度発揮に万全を期する方針であります。

(2) 経理の状況

昭和42年度の経理状況は別表1のとおりで、その概要はつぎのとおりであります。

収益的収入	254,020,411円
収益的支出	252,799,397円
差引純利益	1,221,014円
資本的収入	25,127,658円
資本的支出	50,420,107円
差引不足額	25,292,449円

(3) 企業債・一時借入金の現在高

昭和43年3月末の企業債および一時借入金の総額は別表2.3のとおりであり、昭和42年度中に支払済の企業債償還利息は1,369,760円、一時借入金利息は2,914,678円でした。

(4) 予算の概要

昭和43年度当初予算は前述の経営方針に基づき計上いたしました予算の概要はつぎのとおりであります。

収益的収入	273,502千円
収益的支出	273,502千円
差引	0千円
資本的収入	32,003千円
資本的支出	42,165千円
差引不足額	10,162千円

〔市営企業〕
業務状況等説明書

大村市告示 第73号

地方公営企業法第40条の2第1項、並びに大村市財政事情説明書の作成及び公表に関する条例第2条、第3条の定めるところにより、昭和42年度後期分(昭和42年10月1日から昭和43年3月31日まで)の市立病院事業、市モーターボート競走事業、及び市水道事業の動向及び財政事情をつぎのとおり公表します。



(1) 事業の概況

昭和42年度事業としましては、管理棟の増築により医局、図書室を拡張して医師の研修の場を確保し、これと平行して小児科、眼科及び耳鼻科診療室を拡充し、また昭和42年4月、救急医療機関に指定されたので脳波計、オートクレーブなどを整備して救急医療体勢の確立をはかるほか各種医

調剤数(単位剤)

区分	調剤数
10月	12,142
11月	11,015
12月	10,795
1月	10,048
2月	10,218
3月	11,025
計	65,243
一日平均	401

入院・外来・患者数

区分	本 院		三浦診療所
	入院患者 延人員	外来患者 延人員	外来患者 延人員
10月	7,343	7,341	205
11月	6,757	6,977	192
12月	6,599	7,289	233
1月	6,218	6,724	254
2月	6,066	6,879	261
3月	7,308	7,674	233
計	40,291	42,884	1,368
一日平均	220	286	9

経理の状況

(昭和43年3月31日現在) (単位千円)

(別表1)

区 分	予 算 額					予算執行額	
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	合 計		
収益の収入	第1款 病院事業収益	242,388	12,183	—	—	254,571	254,020
	第1項 医業収益	240,580	12,205	—	—	252,785	252,418
	第2項 医業外収益	1,808	△ 22	—	—	1,786	1,602
	合 計	242,388	12,183	—	—	254,571	254,020
収益の支出	第1款 病院事業費用	242,388	12,183	—	—	254,571	252,799
	第1項 医業費用	237,158	12,115	260	—	249,533	247,798
	第2項 医業外費用	4,978	40	—	—	5,018	5,001
	第3項 予備費	252	28	△ 260	—	20	—
合 計	242,388	12,183	0	—	254,571	252,799	
期間外支出	第1款 期間外費用	—	1,889	—	—	1,889	2,587
	第1項 期間外費用	—	1,889	—	—	1,889	2,587
資本的収入	第1款 資本的収入	15,116	10,000	—	—	25,116	25,128
	第1項 他会計からの補助金	15,000	—	—	—	15,000	15,000
	第2項 固定資産売却代金	113	—	—	—	113	128
	第3項 企業債	1	10,000	—	—	10,001	10,000
	第4項 国庫補助金	1	—	—	—	1	—
第5項 他会計からの長期借入金	1	—	—	—	1	—	
合 計	15,116	10,000	—	—	25,116	25,128	
資本的支出	第1款 資本的支出	22,492	29,312	—	—	51,804	50,420
	第1項 建設改良費	11,411	21,301	—	—	32,712	31,331
	第2項 企業債償還金	4,080	—	—	—	4,080	4,079
	第3項 不良債権解消のための一時借入金返還金	7,000	8,000	—	—	15,000	15,000
	第4項 他会計からの長期借入金返還金	1	—	—	—	1	—
第5項 投資	—	11	—	—	11	10	
合 計	22,492	29,312	—	—	51,804	50,420	

企業債明細書

(昭和43年3月31日現在) (単位千円)

(別表2)

起債目的	借入先	発行年月日	発行総額	償 還 高		未償還残高	利 率	償還終期
				当年度償還高	償還高累計			
病院建設費	郵政省	30. 5.24	22,000	1,869	13,203	8,797	年6分5厘	47. 3.31
" "	" "	31. 3.31	1,200	157	1,200	—	" "	43. 3.31
" "	" "	31. 4.27	7,400	966	7,400	—	" "	43. 3.31
" "	大蔵省	31. 7.30	10,000	761	5,374	4,626	" "	48. 3.31
看護婦寄宿舎建設費	郵政省	32. 8.30	2,000	162	1,244	756	年6分3厘	47. 3.31
医師住宅建設費	大蔵省	33. 3.31	5,000	164	1,160	3,840	年6分5厘	57. 2. 1
病院建設費	" "	43. 3.30	6,000	—	—	6,000	" "	53. 3. 1
" "	" "	43. 3.30	4,000	—	—	4,000	" "	68. 3. 1
合 計			57,600	4,079	29,581	28,019		

一時借入金明細書

(昭和43年3月31日現在) (単位千円)

(別表3)

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	本年度末残高	備 考
45,000	60,000	42,000	借入先 (株)親和銀行大村支店 借入限度額 60,000

益金使途しらべ (単位千円)

42年度末益金	繰 出 金	留保資金
減債積立金44,810千円、建設改良積立金10,935千円を除き、前年度繰越金10,618千円を含む	一般会計 170,000 市立病院事業会計 15,000 水道事業会計 5,390	
242,240	190,360	51,850



(2) 経理の状況

経理の状況は別表1のとおりですが、他会計繰出金も前期とあわせ一般会計へ170,000千円、市立病院事業会計へ15,000千円、水道事業会計へ5,390千円の合計190,390千円を支出し、市の財政に大きく貢献することができました。

(3) 企業債および一時借入金の現在高

防波堤工事など施設改善の資金として、企業債55,000千円を借入れていましたが、これを全額返済しました。なお一時借入金はありません。

(1) 事業の概要

モーターボート競走事業は昭和42年度も順調な発展をとげ、防波堤の完備でレースを中止することも少なく、入場者も増加し1日平均16,513,142円の売上を記録することができました。

これは前年度の売上に比べて33パーセントの増となりました。また、レース妙味を倍加してファンへのサービス向上に努めるべく、観覧席をレースコースに近づくための海岸埋立工事及び浚渫工事を行ないました。

(別表1) 経 理 の 状 況 (昭和43年3月31日現在) (単位千円)

区 分	予 算 額				合 計	予算執行額	
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	費目流用額			
収益的収入	第1款 モーターボート競走事業収益	1,870,811	652,260	—	—	2,523,071	2,536,547
	第1項 営業収益	1,868,795	652,104	—	—	2,520,899	2,532,958
	第2項 営業外収益	2,016	156	—	—	2,172	3,589
	合 計	1,870,811	652,260	—	—	2,523,071	2,536,547
収益的支出	第1款 モーターボート競走事業費用	1,709,914	545,473	—	—	2,255,387	2,249,180
	第1項 営業費用	1,703,217	548,794	1,310	—	2,253,312	2,247,153
	第2項 営業外費用	5,197	△ 3,134	—	—	2,063	2,027
	第3項 予備費	1,500	△ 187	△ 1,310	—	2,988	—
合 計	1,709,914	545,473	0	—	2,255,387	2,249,180	
差引当年度利益剰余金	160,897	106,787	—	—	267,684	287,367	
資本的収入	第1款 資本的収入	33,515	△ 27,726	—	—	5,789	5,789
	第1項 企業債	33,200	△ 33,200	—	—	—	—
	第2項 固定資産売却代金	315	84	—	—	399	399
	第3項 投資	—	5,390	—	—	5,390	5,390
合 計	33,515	△ 27,726	—	—	5,789	5,789	
資本的支出	第1款 資本的支出	202,168	85,020	—	—	287,188	272,683
	第1項 建設改良費	38,218	805	—	—	39,023	27,293
	第2項 企業債償還	18,750	36,250	—	—	55,000	55,000
	第3項 貸付金	145,000	45,390	—	—	190,390	190,390
第4項 予備費	200	2,575	—	—	2,775	—	
合 計	202,168	85,020	—	—	287,188	272,683	

(5) 予算の概要

昭和43年度予算では1日平均売上17,000千円を見込み、一般会計などへの繰出金を135,000千円計上しました。予算の概要は次のとおりです。

収益的収入	2,611,517千円
収益的支出	2,346,521千円
差引	264,996千円
資本的収入	1千円
資本的支出	22,338千円
差引不足額	262,337千円

月別売上しらべ (単位千円)

10月	173,254	1月	217,232
11月	185,740	2月	210,405
12月	202,714	3月	239,006

(4) 建設改良費の予算繰越

地方公営企業法第26条第1項の規定により別表2のとおり予算繰越をしました。

(別表2) 予算繰越計算書 (単位千円)

款項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳		不用額
					損益勘定留保資金	当年度利益剰余金	
資本的支出、建設改良費	競艇場埋立工事	12,200	2,440	9,760	0	9,760	0

主な建設改良工事 (単位千円)

工事名	金額
投票所裏側駐車場用地売却	3,326
レースコース浚渫工事	19,500
スタンド敷地造成(埋立)工事	2,440

地区の減断水も本年度の工事によってその不安を解消することができるものと確信します。

経営面におきましては、国の公共料金値上げ抑制施策によって生じた前年度迄の累積赤字、9,255千円を有しておりましたが、本年度は2名の退職者があり、それに要した退職手当を支出したにもかかわらず、3,959千円の純利益を生じました。

しかし毎年高騰の材料費などの高騰と人件費の増嵩は懸命の企業努力にもかかわらず企業の運営に財政的圧迫を加える状況であります。

なお、昭和43年3月末日の給水戸数は、8,159戸前年度末日に比して451戸の増加で普及率は68.4パーセントとなっております。

(2) 経理の状況

経理については別表1のとおりです。

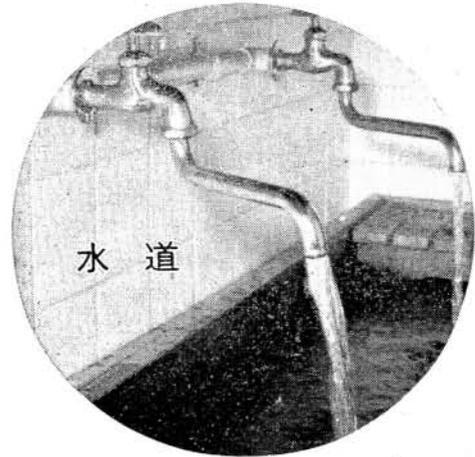
(3) 企業債・一時借入金の現在高

昭和43年3月末日の企業債及び一時借入金とは別表2.3のとおりです。

(4) 予算の概要

昭和43年度予算の概要は次のとおりです。

収益的収入	72,996千円
収益的支出	72,996千円
差引	0千円
資本的収入	60,003千円
資本的支出	67,076千円
差引不足額	7,073千円



(1) 事業の概況

水道事業は、第5回拡張工事の初年度である昭和42年度後期の建設改良工事として松並水源さく井工事、松並水源送水管布設工事、琴浜町線配水管布設工事、諏訪地区内配水管布設工事等を行いました。これで昨年まで夏期における一部高台

給水関係工事 (単位件)

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新設工事	36	27	27	49	23	21	183
増設変更工事	41	40	38	36	26	27	208
修繕工事	57	45	60	48	108	87	405
漏水	113	107	123	96	157	95	691
その他(布設替臨時)	2	3	0	0	0	0	5
計	249	222	248	229	314	230	1,492

配水量表 (単位立方メートル)

区 分	配 水 量	1日平均配水量
10月	245,825	7,898
11月	219,252	7,308
12月	223,981	7,225
1月	203,411	6,562
2月	204,629	7,056
3月	224,676	7,312
計	1,321,774	7,227

建設改良工事 (後期分) (単位千円)

工 事 名	工事費	着工年月日	竣工年月日
西小路線配水管布設工事	550	42.9.25	42.10.10
国立病院線 "	550	42.10.23	43.1.31
宮小路晁天社横改良工事	79	42.8.10	42.9.1
国立病院線 "	24	42.10.23	43.1.31
工 事 雑 費	106	42.4.1	43.3.31

(別表1) 経 理 の 状 況 (昭和43年3月31日現在) (単位千円)

区 分	予 算 額						予算執行額
	当初予算額	追加増減額	予備費充当額	費目流用額	合 計		
収益的収入	第1款 水道事業収益	66,277	5,111	—	—	71,388	71,692
	第1項 営業収益	56,394	4,201	—	—	60,595	60,582
	第2項 営業外収益	9,883	910	—	—	10,793	11,110
	合 計	66,277	5,111	—	—	71,388	71,692
収益的支出	第1款 水道事業費用	66,277	5,111	—	—	71,388	67,733
	第1項 営業費用	58,720	5,511	—	—	64,231	61,282
	第2項 営業外費用	6,557	—	—	—	6,557	6,451
	第3項 予備費	1,000	△ 400	—	—	600	—
合 計	66,277	5,111	—	—	71,388	67,733	
資本的収入	第1款 資本的収入	4,002	63,865	—	—	67,867	17,865
	第1項 固定資産売却代金	1	—	—	—	1	—
	第2項 寄附金	1	—	—	—	1	—
	第3項 葎瀬ダム償還金	4,000	△ 2,100	—	—	1,900	1,900
	第4項 企業債入金	—	60,000	—	—	60,000	10,000
	第5項 工事負担金	—	575	—	—	575	575
第6項 他会計補助金	—	5,390	—	—	5,390	5,390	
合 計	4,002	63,865	—	—	67,867	17,865	
資本的支出	第1款 資本的支出	10,303	63,865	—	—	74,168	24,115
	第1項 建設改良費	5,470	58,835	88	—	64,393	14,393
	第2項 企業債償還金	4,333	—	—	—	4,333	4,332
	第3項 予備費	500	△ 360	△ 88	—	52	—
第4項 他会計からの長期借入金償還金	—	5,390	—	—	5,390	5,390	
合 計	10,303	63,865	0	—	74,168	24,115	

(別表2) 企 業 債 明 細 書 (昭和43年3月31日現在) (単位千円)

種 類	発 行 年 月 日	発行総額	償 還 高		未償還高	発行価額	利 率	償還終期	備 考
			償還年度	償還高累計					
建設改良費	28.3.31	10,000	1,227	10,000	0	10,000	6分5厘	43.3.1	大蔵省資金運用部
"	36.10.30	20,000	499	2,569	17,431	20,000	6分5厘	61.2.1	"
"	37.5.31	62,000	1,452	6,416	55,584	62,000	6分5厘	62.2.1	"
"	37.5.31	15,000	1,154	4,615	10,385	15,000	7分4厘	52.3.20	公営企業金融公庫
"	43.3.1	10,000	0	0	10,000	10,000	6分5厘		大蔵省資金運用部
計		117,000	4,332	23,600	93,400	117,000			

(別表3) 一 時 借 入 金 明 細 書 (昭和43年3月31日現在) (単位千円)

前年度未残高	本年度中における借入残高最高額	本年度未残高	備 考
14,000	22,000	14,000	借入先 (株)親和銀行大村支店 7,000 (株)十八銀行大村支店 7,000